

第 28 回武庫川流域委員会 まちづくりWGからの報告

051108 まちづくり WG 主査田村博美

1. 武庫川の「川づくり」と周りのまちと一体となった「まちづくり」を進めるため「武庫川カルテ」を作成
そのため、武庫川の抱える課題、あるいは周辺地域の抱える問題点や課題について調査した。各市の総合計画、都市計画マスタープラン、緑の基本計画などを分析する。(報告済み)
武庫川の現状を把握するため現地踏査を行った。また既存の文献資料を参考とした。
これらを基に図面と写真やコメントからなる「武庫川カルテ」を作成した。下流から上流の篠山まで計 36 地区の図面とカルテを作成の予定。現在 17 地区について作成した(一部未完もある)、(一部報告済み)
2. 武庫川「川の駅」構想について
上記、武庫川カルテ等をもとに武庫川づくりと周辺のまちづくり、防災、啓蒙、環境学習、ボランティア活動などを総合的に実践していくための出先拠点「川の駅」を下流から上流を中継するように配置することを検討している。(別紙イメージと配置案参照)
3. 総合治水と川づくりの提案のための流域関連各市ヒアリングの実施
流域の総合治水を進め、また武庫川づくりをまちと一体となって進めるためには、流域の将来像を把握しておく必要がある。とくに流域の将来人口、土地利用、市街化動向、市街地の土地利用転換などである。
ヒアリングシート(別紙)を用意、事前にモデルとして宝塚市をヒアリングしたい。
その後流域各市と各県民局を対象としたヒアリングを実施する予定。
4. 武庫川沿川の景観整備について
武庫川づくりの重要な要素として、景観整備がある。川からみた街の景観、街からみた川の景観、川や街の背景となる緑地や山の景観などである。これらの要素に対して、これまでどのような施策がなされてきたのか、現状の課題は何か等について評価・分析し 川と街が一体となった良好な景観づくり、 地域ごとの個性と特性のある景観づくり、 上流から下流を見据えた武庫川の景観づくり、等について検討している。
そのため、各市の景観計画関連報告書を提供頂きたい。
5. 武庫川環境とまちづくりに関するアンケート調査の集計分析
環境 WG とまちづくり WG の共同作業で集計中。
6. 総合治水の一環として、超過洪水対策についてまちづくり側からの考え
7. 上流中流下流の連携策についてまちづくり側からの考え